

情報を先取り、タブーに挑戦

財界カッポス

昭和三十三年三月三日 第三種郵便物認可
平成二十八年八月十五日発行 第五十四巻 第九号(毎月十五日発行)

地銀再編が加速、石井政権長期化も

来年100周年・北洋銀行 どうなる〆次期頭取レース、

2016年
9月号

次期札商の新副会頭は誰に…

加藤欽也、紫藤正行に期待の声

昭和交通社長

ダイコクグループ代表

尾賀真城^{サッポロビール社長} 好調・黒ラベル、ビールの市場拡大に全力投球
「伊達忠一議長、橋本聖子議員会長」決めた参議院の〆派閥力学、
新冠・競走馬射殺事件、元^{競馬牧場}牧場主の〆一匹狼、人生
ノースウェーブを担当 元STVラジオ社長がえんれいしゃ顧問に就任

特集

札幌〆噂の再開発

全1ページ

◎パークホテル ◎西武跡地 ◎旧サンデパートビル周辺
◎大同生命ビル ◎第6、第7グリーンビル ほか



祝 拓殖大学 学友会 北海道連合会 創立60周年 記念講演会

拓殖大学学友会
北海道連合会

テーマ「今後のアジア情勢」



われら母校、拓殖大学は1900年の建学以来、一貫して世界に視点をとらえ、アジアを始めとする海外諸地域に数多くの先輩たちが海外飛躍を志向し、揺るぎなき学統を構築してまいりました。

1956年、学友会北海道連合会初代会長・藤木定氏（19期）により北海道連合会が創立。その間、今日まで本学並びに学友が歩んで来られた道のりは決して平坦なものではありません。時には多くの試練を克

われら同窓

拓殖大学

拓殖大学のトップと学友会北海道連合会の各支部長で記念撮影（アバホテル＆リゾート札幌）

服しながら母校と共にたくましく乗り越えてきたことは、学友にとつて60周年の持つ歴史的意義が如何に重く、かつ厳粛なものであつたかは言うまでもありません。7月9日、学友会北海道連合会創立60周年記念式

典にあたり、学友会会長・赤澤徹氏、本学総長・森本敏氏、理事長・福田勝幸氏、北海道短大長・篠塚徹氏、北海道連合会代表・大館一生に加え、全国各地から沖縄県支部はじめ道外76支部として北海道11支部から総勢172人の学友にご参集いただきました。

記念講演をおこなった森本先生は、日本の安全保障・防衛政策のスペシャリストで、講演テーマは「今後のアジア情勢と日本の課題」。われわれに身近な問題として興味深く、同窓会員外を含め230人の集客を呼び、有意義なものとなり大盛会でありました。

祝賀会の食膳は、北海道特産品を取り入れた屋台料理が振る舞われ、山海の珍味を十分に味わい楽しみました。また、アトラクションでは「松涛館空手少年部」

「夢想神伝流居合道」「日本剣道形」が演武を披露。「新琴似天舞龍神」がよさこいソーランを踊り、感銘を受けました。

最後は、校歌の一節「人種の色と地の境 我が立つ前に差別なし」を胸に、海外飛躍を志向した学生時代を思いをはせ、学生時代応援団長だった赤澤会長が壇上で、団長しか吟じられない「序文」を披露。それに続き拓大名物、勝ちます踊り「興亜の雄図」の一節を全員で押忍三唱し、閉会となりました。（大館 記）

